

つきさっぷ町連だより

【月寒地区広報誌 第20号】

発行日：令和6年3月26日

発行元：月寒地区町内会連合会（町連）

豊平区月寒中央通7丁目8-19

月寒まちづくりセンター内

電話・ファクス 852-9288



新しい年度に期待を寄せて

月寒地区町内会連合会会長 山田 重孝

新しい年『辰年』が明けたと思っていたら、いつの間にか3月に入っていた。月日が飛ぶように過ぎ去っていく。昨年5月、新型コロナウイルス感染症の5類分類に伴い、月寒町連各部の活動が活発になってきたことも原因なのかなと思ったりしている。

1月8日に月寒町連の新年交礼会を終えて、1月14日には16チームによる子どもカルタ大会を行い、そして2月17・18日には4年ぶりとなるホワイトジャンボフェスタをたくさん参加者とともに大盛況のうちに成功をおさめ、現在は町連各部長が来年度の予算編成会議を重ね、新年度に向けての準備を進めている。

今冬は1月までは比較的降雪が少なく、2月から各地域で始まるパートナーシップ除排雪作業も中旬頃までは順調に進んでいたが、20日以降にまとまった降雪があり、私の所属する町内会ではちょうど作業が終わった夜から3日間降りっぱなしだったおかげですっかり元の状態に戻ってしまった。ほかの町内会でも同じようなところがあり除雪に苦労されたことと思いますが、この号が出る頃には雪解けも進み春が近づいていることでしょう。

札幌オリンピックが遠ざかり月寒地区のまちづくりにも影響が出るかと思っていたが、地区内にある市営住宅の建て替えが決定した。工事は長期間にわたり活気づくのは間違いない。

まもなく始まる新年度が月寒地区にとって希望に満ち溢れたものになってほしいと願っている。

月寒地区防災研修会

2月10日(土)午前10時から、月寒公民館体育室において、町連防災部主催の月寒地区防災研修会が開催されました。

今回は特定非営利活動法人環境防災研究機構北海道より外部講師を招き「冬を想定した避難方法について」と「ライフラインの問題への対処について」の講習を座学形式で行いました。

厳冬期の札幌で災害が起こった際の避難では、夏場とは違ったりリスクがあるため、その心構えや事前の準備の重要性を学び、水道・電気・ガス・通信などのライフラインが止まった際には普段からの備えが大事であることを再認識しました。

研修会には各町内会より約40名の方が参加され、どなたも真剣に講義に耳を傾けていました。次の機会にはぜひ皆さんも参加してみてください。



参加者には防災セットを配付

令和6年 新年交礼会を開催

1月8日(月)午後6時から、月寒公民館体育室において令和6年月寒町連新年交礼会が4年ぶりに開催されました。成人の日でもあったこの日、各町内会からの参加者に加え、区役所や小中学校ほか各種関係団体からの来賓も招き、約180人の出席者により盛大に執り行われました。山田町連会長、芝井豊平区長



大正琴の音色が響く

高木復興副大臣の挨拶に続き豊平区市民部の白石部長による乾杯の音頭で始まった宴席は、4年ぶりということあつてか、とても賑やかにそして大変和やかに進みました。また途中には、大正琴サークル「きらく会」による大正琴の演奏や「月寒東中野七頭舞」による演舞が披露され、宴席に華を添えていただきました。どの参加者も終始笑顔にあふれ、お互いの親睦が深まる交礼会になりました。



宴会は終始和やかムード



七つの道具を持って踊る「中野七頭舞」

子どもカルタ大会 ～意外と知らない?北海道遺産～

1月14日(日)、公民館大研修室で青少年育成委員会の主催による第39回月寒地区子どもカルタ大会が開催されました。取り合う札が木製であることや、和歌の上の句ではなく下の句を読み上げるなど北海道独特のルールで行われる百人一首「下の句カルタ」は、タイトルにもありますが令和4年に北海道遺産に選定されています。皆さん知っていましたか?ここ数年はコロナ禍の影響もあり、競技を行う児童も少なくなっていることから参加者が集まらないことも懸念されていましたが、当日は月寒地区の児童会館やスポーツ少年団から過去最高の16チーム48名の小学生が参加し熱戦を繰り広げてくれました!長時間にわたる激闘の末【とよミニ②】チーム



競技中は真剣そのもの

の優勝となりました。以降順位は次のとおり。

準優勝【とよミニ①】

第3位【トッポ】

第4位【わくわくカルタ】

日ごろから児童会館などでカルタの練習をしている子どもがこの大会がきっかけでお祖母ちゃんに教わり初めてカルタに触れたという子ども、みんな楽しく真剣に競技に取り組んでいました。また来年もみなさんと会えることを楽しみにしています!



上位入賞4チームで記念撮影

ホワイトジャンボフェスタ2024

冬の恒例イベント復活！



雪像づくりの様子

ドルが全滅するアクシデントがありつつも、当日の雪像コンテストには9団体が参加。地域の子どもたちと大人たちが一丸となって懸命に雪像を作っていました(大人たちの方が張り切っていたかも)。夜はアイスキャンドルの代わりに急ぎょ制作したスノーキャンドルに火を灯し、つきさっぷ中央公園の入り口を幻想的に照らしていました。

月寒地区の冬の恒例イベントであるホワイトジャンボフェスタが2月17日(土)・18日(日)の二日間にわたって開催されました。他のイベント同様こちらにも実に4年ぶりの復活を遂げました。一日目となる17日は、つきさっぷ中央公園で雪像コンテストとアイスキャンドルコンテストが行われました。数日前からの暖気の影響で準備していたアイスキャン



ココアの無料配付

スノーキャンドルが幻想的に



上：栗の木太鼓

下：キッズチアダンスラム

二日目となる18日は、月寒公民館で前日行われた雪像コンテストとアイスキャンドルコンテストの表彰式にあわせて、参加者の交流会が行われました。オープニングでは「栗の木太鼓」による一糸乱れぬ素晴らしい演奏が披露されました。続いて表彰式、今回のグランプリは辰年にちなみ「上昇気龍」と名付けた龍の雪像を制作した「美晴幼稚園」となりました。おめでとうございます！このほか3団体が入賞、それぞれ表彰状と副賞が贈られました。グランプリはならずとも、どのチームも審査員が過去最高の出来栄えと唸るほどの力作揃いでした。

その後の交流会では「キッズチアダンスラム」によるチアダンスが披露され、昼食後は札幌大学によるクイズ大会で大いに盛り上がりました。参加された皆様ありがとうございました。(雪像コンテストの結果)

- ・グランプリ：美晴幼稚園
- ・準グランプリ：月寒少年消防クラブ
- ・アイデア賞：月寒ストロンガー
- ・みんなで選んだで賞：愛2子ども会

(アイスキャンドルコンテストの結果)

- ・みんなで選んだで賞：福祉のまち推進センター



昼食には豚汁を用意



グランプリ「上昇気龍」

つきさっぷ郷土資料館にようこそ！

運営ボランティアも募集中

町連が運営する「つきさっぷ郷土資料館」は、もともと旧陸軍北部軍司令官官邸として昭和16年に建てられたもので赤いレンガの建物が特徴です。戦後は北海道大学の学生寮として使用されていましたが、昭和60年に「つきさっぷ郷土資料館」として開館しました。



レンガ造りのシックな建物

ここには、旧歩兵第25連隊をはじめとする旧陸軍資料のほか、当時の生活や農業・林業に関するものに加えて古文書など

約4000点の資料が展示されています。明治の開拓期から札幌が政令指定都市になるまでの歴史に触れてみてはいかがでしょうか。



陸軍資料に加え農機具や当時の生活をうかがわせる展示品の数々

当館は3月末で冬の休館期間を終え、4月3日（水）より再開しますので是非ご来館ください。

また当館では、開館前の館内清掃や資料の分類整理、団体見学の学生への説明を行ったりする運営委員（ボランティア）を募集しています。興味のある方は下記までご連絡ください。

【つきさっぷ郷土資料館 概要】

住所：札幌市豊平区月寒東2条2丁目3-9

電話：011-854-6430

開館日：4月～11月の水曜日、土曜日（冬季休館）

公開時間：10:00～16:00

入館料：無料

アクセス：地下鉄東豊線月寒中央駅1番出口から徒歩15分

編集後記

令和5年度も最終月となり新年度に向けて町連も準備を加速中だ。来年度の実施計画、予算づくりや総会の準備など、なにかと慌ただしい今日この頃である。気を引き締めながら新年度を迎えよう。春はもうすぐだ…（あ）

令和6年度町連定期総会

開催のお知らせ

4月20日（土）14時より公民館第3研修室において令和6年度町連定期総会を開催します。令和5年度の事業・決算報告、令和6年度の事業・予算計画の説明や意見交換を行いますので、ぜひご出席いただきますようお願いいたします。



前回の様子

山田重孝町連会長が札幌市自治振興功労者表彰を受賞

11月28日（火）札幌パークホテルにて札幌市民表彰式が行われ、山田重孝町連会長が自治振興功労者として表彰されました。この表彰式は札幌市のまちづくりに大きく貢献された方の栄誉を称え、その功労を広く知っていただくために行っているもので、山田会長はこれまでの永きにわたる町内会役員等の活動により地域の自治振興に大きく貢献したことを評価されたものです。受賞おめでとうございます！今後のさらなる活躍を期待しています。

秋元市長より表彰状授与



月寒地区の”いま”

（令和6年1月1日現在）

人口：38,403人
世帯数：22,032世帯
町内会数：77町内会